

「Let's 健康おきなわ21」



薬局をもっと身近に…

八重山地区薬剤師会副会長 荒谷 敏 巳

長寿県といわれていた沖縄県ですが5年に1度公表される都道府県別生命表（平成22年）では男性は25→30位、女性は1位→3位と順位を下げる結果となっています。

そこで沖縄県では、健康・長寿復活を目指し健康おきなわ21を策定し取り組んでいます。そんな活動のなか脳出血の死亡率が沖縄県の八重山地域が全国ワーストという調査結果が報道され全く想像さえしていない結果に衝撃を受けました。

脳出血も含め脳血管疾患は死因の第4位でその原因は高血圧や動脈硬化を引き起こす高脂血症、糖尿病、肥満、喫煙、ストレス、過度の飲酒などと言われ生活習慣を見直し自己管理を行うことがとても重要となってきます。これを機会に自身のからだのことを特定検診など積極的に利用して見つめ直してみたいはいかがでしょうか？

八重山地区薬剤師会では十数年前よりお薬相談会をスーパーの一角をお借りして開催してきました。近年は県立八重山病院の先生方や地域の保健師の方のご協力もいただき各地区の公民館へ一緒に訪問しミニ講演会を行いその後、血圧、骨密度等の測定を行いそのデータや持参されたお薬手帳を

活用しながら相談に応じています。

またことしの2月5日には厚生労働省の「患者のための薬局ビジョン」アウトリーチ型健康づくり推進事業の一環として黒島で健康とお薬相談会を開催し多くの方々に参加いただきました。

私たち薬剤師は薬の専門家の立場から薬の服用、管理はもちろん生活習慣や食事管理など健康全般を利用者本人やそのご家族の方々にも身近で気軽に相談できる「かかりつけ薬剤師」を目指し、また薬局という場所は健康づくりの拠点となる「かかりつけ薬局」として地域の皆さまとの接点を増やし一緒につくっていきたいと思っています。

今後も今以上に身近で相談できる環境をつくるため活動していきますのでお気軽にご利用いただければ幸いです。

健康づくりは一人だけでなく家族や地域みんなでつながり支え合っているものです。ゆいまーる精神で健康・長寿を守っていきましょう。

「Let's 健康おきなわ21」は、八重山地区健康おきなわ21推進会議の構成機関・団体による『沖縄県の長寿復活に関する記事』を掲載しています。

八重山毎日新聞

平成29年5月21日(日)